1 紫波町公共ライドシェアとAIオンデマンドを統合するMaaSアプリ事業｜株式会社未来シェア

プロジェクト概要

紫波町で個別に運用されているAIオンデマンド交通、公共ライドシェア、タクシーの各システムを標準APIにより連携・統合する。1つの統合アプリで全モードの一括比較・予約を実現し、住民の「移動の足」確保と事業者の配車管理業務の効率化を推進する。共同配車基盤の構築により持続可能な地域交通への転換を目指す。

課題

- 紫波町では高齢化により自家用車に頼らない移動手段の確保が急務であるが、現在、オンデマンド交通、ライドシェア、タクシー配車管理システムが個別に運用されている。利用者にとって最適な手段の選択が困難かつ面倒なだけでなく、事業者も運行モードごとに異なる管理が必要で、業務効率や車両稼働率の改善が難しい。

取組内容

- **システム連携・統合の具体策**
  未来シェアが提供しているSAVS運行システムは柔軟性が高く、オンデマンド交通、公共ライドシェア、タクシー配車のいずれの交通モードにも対応可能である。SAVS運行システムをベースに、タクシー配車管理APIおよびデマンドバス配車API等の標準仕様を参考に、各交通モードのサービスを共通APIで提供する。これにより、1つの統合アプリとSAVS運行システム単体でマルチモードの配車差配が可能となる。
- **交通サービスの高度化**
  「ライドしわまる（仮）」において、3モードの所要時間・事前料金を自動計算し利用者に提示する。相乗りのための事前運賃計算や自動按分機能を新たに開発し、公平なサービスを実現する。
- **モビリティ・データの取得・活用**
  各モードから取得した乗降実績データ等を統合分析し、動的な配車最適化や地域交通政策の立案に役立たせる。

事業要件

- システム統合による業務効率の向上（共同化）

技術要件

- デマンドバスシステム連携API標準仕様書
- タクシー配車システム連携API標準仕様書

効果

- 利用者側：交通選択時間を最大50%削減し、シームレスな予約体験を提供する。
- 事業者側：システムの統合管理によりオンデマンド交通、ライドシェア、タクシーの稼働効率を10～15%向上させ、業務生産性を改善する。
- 地域全体：過疎地域の移動格差を是正し、公共交通の費用対効果を改善する。

事業実施自治体・エリア

岩手県紫波町

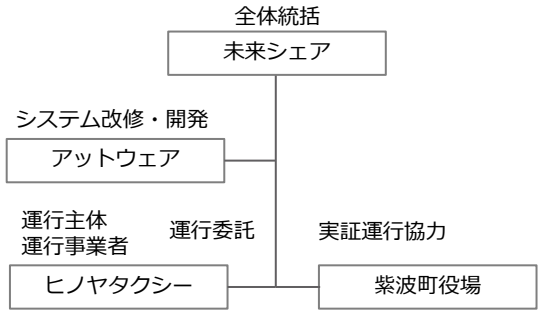
交通事業者

タクシー：ヒノヤタクシー
オンデマンド交通：未来シェア

アプリ・システム等

- アプリ・システム：ライドしわまる（仮）／SAVS運行管理システム
- データの取得方法：アプリ利用ログ、SAVSからの運行実績データ（乗降地点・時刻等）
- データの活用方法：サービスの適正提供・全体最適の検証、利便性と採算性の改善

座組



スケジュール

4月～7月：要件定義・システム設計

7月～11月：システム開発/連携API標準仕様対応/テスト

12月～1月：実証運行

1月～2月：アンケート実施・とりまとめ

2月：データ分析、成果とりまとめ

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.